

[16_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468061>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 16 (1), 1983-01-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

お 知 ら せ

英論文編集清書システムATFのバージョンアップについて

11月15日(月)よりATFをV02/L01へバージョンアップしました。これに伴って、ATFコマンド、ATF命令の変更・追加がありました。詳細は、マニュアル[1, 2]を参照してください。

1. ATFコマンド

・変更点

コマンド名	オペランド	省略時の採用値	
		V01/L06	V02/L01
FORMAT DISPLAY	$\begin{Bmatrix} SS \\ NS \\ D \end{Bmatrix}$	NS	SS
	$\begin{Bmatrix} CAPS \\ ASIS \end{Bmatrix}$	CAPS	ASIS
NLP	$\begin{Bmatrix} CAPS \\ ASIS \end{Bmatrix}$	CAPS	ASIS
		1インチに* 10文字	1インチに** 12文字

* 清書文書は無条件に1インチに10文字であった。

** オペランドを指定すれば、1インチに10文字出力可。

また、FORMATコマンド、NLPコマンドに機能追加のためのオペランドが追加されています。

・追加

i) SPELLCHKコマンド

テキストファイルの単語が単語帳ファイルに登録されているものか調べ、登録されていない単語を端末またはファイルに出力する。また、綴りの誤りを会話的に修正することもできる。

ii) WORDSコマンド

私用単語帳ファイルの単語の追加・削除を行う。

2. ATF命令

・変更点

@NP …… 文章中で@NP命令を使用する場合、括弧指定が可能となった。

記述形式 @NP (数式データ)

・追加

@GR …… ギリシャ文字を指定する。

@SC …… スクリプト体を指定する。

@HW …… 単語を分割する位置を自動ハイフネーションとせずに、指定した位置とする。

- @HY ……自動ハイフネーションを行う。
- @RE ……指定したファイルから入力データを読み込む。
- @TR ……テキストファイルの文字列を指定した文字列に置換える。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS M ATF解説書 (70AR-8700-2), 富士通㈱.
2. 計算機マニュアル FACOM OS M/F4 ATF使用手引書 (64AR-8710-2), 富士通㈱.

(センターニュース№ 264, 11月5日発行)

SAS, SPSSのレベルアップについて

1. SAS

SAS, SAS/GRAPH, SAS/ETSを79.6へレベルアップしました。今回は, SAS/GRAPHに対するものが主で, 新しくG3GRIDプロシジャの追加, 及び GMAP, GPLOT, GCHART各プロシジャに機能追加があります。詳細は, 文献[1, 2]を参照してください。

2. SPSS

SPSSをリリース9.1へレベルアップしました。これに伴い, 以下のプロシジャが追加されています。

- MANOVA ……一般線形モデル
- BOX-JENKINS ……ボックス-ジェンキンス法
- NEW REGRESSION ……重回帰分析 (新版)

使用に関する詳細は, マニュアル [3] を参照してください。

参考文献

1. 武富, 川崎, 達矢, 柳池, 景川 SAS/GRAPHの使用について, 九大大型計算機センター広報, 15, 4, 1982, 367-397.
2. SAS/GRAPH Enhancements and Updates for 79.6, SAS Institute Inc.
3. SPSS Update 7-9, McGraw-Hill.

(センターニュース№ 264, 11月5日発行)

PASCALの利用について

11月15日(月)より富士通提供のPASCALを公開しました。このPASCALは, ISO PASCAL規格案「ISO/TC 97/SC 5 N565」に準拠し, それにいくつかの機能拡張を加えたものです。これに伴い, 従来使用してきたPASCAL8000については, そのカタログプロシジャ名を「PASCAL」から「TPASCAL」に変更しました。ただし, PASCAL8000に付随したソフトウェアツールPASDAP, PASDAXは, 従来と同じくそのまま利用できます。詳細は, マニュアル [1, 2] を参照してください。

1) TSSによる使用

- i) EDITコマンドでソースプログラムを作成し, RUNサブコマンドで実行する。

EDIT AAA PASCAL NEW

ソースプログラム

EDIT

RUN

ii) RUN コマンドにより実行する.

RUN AAA PASCAL

iii) PASCAL, LINK, CALL コマンドにより実行する.

PASCAL AAA

LINK AAA LOAD (AAA (LM)) PASLIB

CALL AAA (LM)

2) バッチによる使用

形 式

プロシジャ名	記 号 パ ラ メ ー タ	プロシジャステップ名
PASCAL	$[, \text{SYSOUT} = \left\{ \begin{array}{c} \underline{A} \\ K \\ S \\ O \end{array} \right\}] [, \text{STEP} = \left\{ \begin{array}{c} C \\ \underline{CG} \\ CL \\ CLG \end{array} \right\}]$ $[, \text{PRVLIB} = \nabla \text{データセット名} \nabla]$	PAS LOADGO LKED GO

PRVLIB 組み込みたい私用ライブラリのデータセット名を指定する.

関連する DD 名

PAS. SYSIN ソースプログラム用

LOADGO. INPUT 実行時の入力データ用 (STEP = CG の時)

GO. INPUT " (STEP = CLG の時)

使 用 例

// EXEC PASCAL

// PAS. SYSIN DD *

ソースプログラム

// LOADGO. INPUT DD *

実行時データ

//

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS N PASCAL 文法書 (64SP-3340-1), 富士通㈱.
2. 計算機マニュアル FACOM OS N/F4 PASCAL 使用手引書 (64SP-3690-1), 富士通㈱.

(センターニュース No. 264, 11月5日発行)

BROWSEコマンドとLISTMコマンドの改訂について

フルスクリーン型端末（FSO機能を使用できるもの）用のTSSコマンド入力支援システムを12月6日（月曜）に改訂しました。今回の変更では、コマンド名が“BROWSE”及び“LISTM”から“FLIST”及び“MLIST”に変更されるほか、いくつかの使用上の注意点がありました。詳しくは、文献[1]を参照してください。

参考文献

1. 末永 TSSコマンド入力支援システムの開発について— FLIST及びMLIST コマンド—, 九大大型計算機センター, 15, 5, 1982, P 475-514.

(センターニュースNo 266, 11月25日発行)

投 稿 の し お り

センターでは利用者の方々とより深い交流をはかるため、次のような種類の原稿を募集しています。

1. 随 想
2. 計算機を利用して行なった研究・開発の紹介
3. プログラムの実例と解説
4. センターに対する質問・要望
5. 利用者の声
6. その他計算機に関すること

執筆上の注意

1. 原稿用紙は原則として、当センター規定のものを使用してください。(共同利用掛にあります)
2. 黒鉛筆, 黒ボールペン, 黒インクのいずれかで書いてください。
3. 原則として、当用漢字, 現代かなづかいで統一してください。
4. 図, 表は別紙に明瞭に書き, 挿入位置を明示してください。
5. 別刷は原稿提出時に希望があれば, 50部まで無料とします。ただし, 配布先一覧が必要です。

原稿の掲載については広報教育委員会で検討させていただきます。その他投稿に関するお問合せは共同利用掛(TEL. 内線 2505)へどうぞ。

原稿の送付先は次のとおりです。

福岡市東区箱崎6丁目10番1号(〒812)

九州大学大型計算機センター 共同利用掛